



11



不安から発現する行動

- ★過度に吠える
- ★トイレの失敗
- ★自虐行動(脱毛、抜毛)
- ★多飲、多尿
- ★下痢、嘔吐
- ★過度のよだれ
- ★呼吸が速くなりハアハアとする



- ★家具などを壊したり傷つける
- ★逃避を試みて破壊行動をする
- ★同居の動物たちとのけんか
- ★飼い主の臭いの付いている物にいたずら

原因

どの年齢でも、どの犬種でも発症する症状で、譲渡された犬や迷い犬であった個体が多いです。飼い主が一人暮らしであったり、分離時や帰宅時に過度の愛着を示した犬を養育して注目してしまうことが原因と考えられます。

診断

症状があっても思い込まずに、まず動物病院やしつけの専門家に相談ください。飼い主が出掛ける時や外出後が過度に不安なだけで、他に身体的な異常がみられないというホームドクター(獣医師)の診断が必要です。甲

①出掛けない時でも出掛ける前や帰宅後10分ほど犬を無視し、「注目」という愛着行動を繰り返さないこと
②出掛けない時でも出掛ける前や帰宅後10分ほど犬を無視し、「注目」という愛着行動を繰り返さないこと
③時間をかけてご褒美を取り出さないうちを、出掛ける10分くらい前に与える。
④お散歩の時間を長くし、犬さんが帰ってきた

状態が改善しても思い込まずに、まず動物病院やしつけの専門家に相談ください。飼い主が出掛ける時や外出後が過度に不安なだけで、他に身体的な異常がみられないというホームドクター(獣医師)の診断が必要です。甲

治療

◆行動修正法 飼い主が犬さんへの態度を変えることで犬の行動を変えよう。
①外出時、帰宅時に興奮させない。落ちついて静かになるのを待つ。
②出掛ける前に「行って帰ってくるよ」とか、帰った時に嬉しく足にまわりついて興奮している犬に「たたいま。ボチちゃん(名前)を連呼してしまつ場合が多い。よくい子にしたいわね」などと言わずに静かになつたら褒めよう。出掛ける前や帰宅後10分ほど犬を無視し、「注目」という愛着行動を繰り返さないこと。

◆薬物療法 薬物療法は事前に動物病院で十分な身体検査や血液検査を行い、精神科領域の知識がある獣医師と連携しながら行うことが必要です。
SSRI(選択性セロトニン再取り込み阻害薬)、三環系抗うつ剤などにより脳内のセロトニン(もともと脳内にある幸せ物質)の量を増やす方法があります。効果が出るまで4〜8週間待たないといけないので、効果が期待できない期間は後述の抗不安剤を短期間に頓服で使います。副作用はSSRIで胃腸の停滞、三環系抗うつ剤で眠気、喉の渇き、尿がきらい、などがみられます。また

犬さんの分離不安症

今回の執筆者は佐々木由枝さん

ペットフード協会の調査では2013年の日本のペットの飼育頭数は、犬が1087万2千頭で飼育世帯率15.8%、猫が974万3千頭で10.1%となっています(一般社団法人ペットフード協会HPより)。ペットは生活に喜びを与えてくれる存在として「伴侶動物」「パートナー」といった呼び名も最近使われています。動物の愛する存在は人の生活に潤いを与え、癒やしや活力を生み出してくれます。しかし飼育者には共に生きる喜びだけではなく、動物が苦しんでおらず、周囲の方々にも迷惑を掛けないという義務と責任も伴うのです。

飼い主の接し方で改善を

分離不安症を改善するには

出掛ける時や帰宅後、10分ほど犬を無視し、興奮が落ち着いたら褒める

飼い主以外の人や犬に会うなど、さまざまな状況や刺激に慣れさせる

出掛ける前に、時間をかけておやつを取り出せるようなおもちゃを与える

状態が改善しても思い込まずに、まず動物病院やしつけの専門家に相談ください。飼い主が出掛ける時や外出後が過度に不安なだけで、他に身体的な異常がみられないというホームドクター(獣医師)の診断が必要です。甲

このコーナーへのご意見、ご感想をお寄せ下さい！
ご意見、ご感想、岡谷動物病院の佐々木先生に聞いてみたいことなどをお寄せ下さい。住所、名前、電話番号を明記し、郵送(〒394-0028岡谷市本町3の8の30)、ファクス(0266・22・4444)、Eメール(mail@shimin.co.jp)のいずれかで、市民新聞グループ編集局「見る」係へお送りください。

